

第275号（2023年6月号） / 2023年6月1日発行

市民の願いの実現に新たな市民運動を！ 3年後には市長選挙です

5月16日、臨時市議会が開催され新しい議会人事が決まりました。議会の構成は前号でもお知らせした通り、自民党・明政クラブ8名、日本共産党4名、公明党4名、わかりやすい政治を伝える・維新の会2名、無党派4名（立憲1名、生活者ネット1名、無所属2名）です。

これまでの議会の様子から、良い方向に向かうとは思えない構成ですが、学校給食費の無償化、補聴器購入補助、18歳までの医療費の無料化、図書館は現在地で充実、ジェンダー平等、さらに市内のバス運行、PFAS地下水汚染など市民要求は山積みです。要求実現のために、幅広い市民運動が必要です。

3年後には市長選挙です。「市民派市政」の実現に向けて、今から準備を始めましょう。

議会選出各種役職名簿（令和5年5月16日現在）

		◎委員長		○副委員長	
名称	人数	氏名			
議長	1	谷田部かずゆき			
副議長	1	宮坂 良子			
監査委員	1	石川 和広			
常任委員会	総務文教	◎しの 浩司	○山田 幸子	小木 哲朗	きたみまさし
		山田みちこ	三角たけひさ	岡村 しん	谷田部かずゆき
	社 会	◎佐々木貴史	○太田久美子	ひらい里美	吉野 芳子
		宮坂 良子	石川 和広	栗山 欽行	
	建設環境	◎西村あつ子	○三宅まこと	高木さとこ	荒木 てつ
		小野寺克己	辻村ともこ	石井 功	
議会運営委員会	8	◎石井 功	○西村あつ子	三宅まこと	しの 浩司
多摩川衛生組合議会議員	4	三角たけひさ	岡村 しん	山田 幸子	佐々木貴史
東京たま広域資源循環組合議会議員	1	太田久美子			

5月16日臨時議会 補正予算を可決

日本共産党市議 宮坂良子

低所得の子育て世帯に給付金 5万円 不登校支援員を配置 一中、二中、三中に

5月16日開会された臨時議会では、補正予算の審議が行われ、賛成全員で可決されました。

低所得の子育て世帯へ

国からの地方創生臨時給付金で、低所得のひとり親家庭や住民税非課税のふたり親世帯、収入が急変し

非課税相当になった世帯に、子ども一人につき5万円を支給することが決まりました。

不登校生徒へ支援

東京都の予算で、不登校の生徒へ勉強の支援を行なうために、支援員が配置されることになりました。

対象は一中、二中、三中です。各学校は教室以外の部屋を確保し、そこで教えることになります。

日本共産党は、不登校児童生徒への支援を一貫して訴えてきました。

WiFi設置

地域センター等にWi-Fi設備を設置することが決まりました。

デジタル田園都市構想

個人情報の保護徹底求める

「デジタル田園都市国家構想」に基づき狛江市のデジタル化を推進する予算が盛り込まれました。日本共産党は岡村しん議員が質疑を行ない、個人情報の徹底やデジタル化で恩恵を受ける人と受けられない人との格差を生まないこと、また企業主体ではなく自治体主体ですめるよう求めました。

市側は「個人の同意なしに、個人特定が行なわれること等の事態が発生しないよう、プライバシーを最大限尊重した対応を行ないます」と答えました。

狛江市議会

2023年度（令和5年）第2回定例会日程

日程	開会時間	内容
6月8日（木曜日）	午前9時	本会議（初日）
6月15日（木曜日）		本会議（一般質問）
6月16日（金曜日）		
6月19日（月曜日）		
6月20日（火曜日）		
6月22日（木曜日）		総務文教常任委員会
6月23日（金曜日）		社会常任委員会
6月26日（月曜日）		建設環境常任委員会
6月30日（金曜日）		議会運営委員会
7月3日（月曜日）		本会議（最終日）



豊かな会が推薦した日本共産党の荒木てつ議員と引退された鈴木えつお議員からのメッセージです。

市議会議員 荒木てつさんのご挨拶

「これからが本番」

みなさんのご支援で、市議会議員選挙に当選できました。有難うございました。

思えば、半年前、教職を辞めて、右も左も分からない政治の世界に飛び込み、市議会議員になることを当面の目標に活動してきました。今、みなさんのご支援によって、その目標を達成しました。しかし、これから本番です。みなさんのご期待に沿えるようがんばります。

特に、教職の経験を活かして、教職員の増員、30人学級の実現、子どもの権利条例の制定、学校給食の完全無償化などに取り組んでいきたいと思えます。また、調布・狛江への保健所復活、南部地域の交通利便の改善、猪方樋管の排水ポンプ設置の用地確保の促進等の公約の実現に全力で頑張ります。

そして、岸田政権の大軍拡と増税を中止させ、子どもたちに、平和で豊かな未来を手渡すためにが

んばります。

引き続き、皆様のご支援をよろしくお願い致します。



前市議会議員 鈴木えつおさんのご挨拶

「荒木さんをサポートしてがんばります」

10期40年間、皆様に大変お世話になりました。ありがとうございました。

また市議選での荒木てつ候補へのご支援、ありが

とうございました。新人なのでどうなるかと不安でしたが当選できてほっとしています。

選挙後の駅頭宣伝では「当選おめでとうございます」「鈴木さん、いい跡継ぎができましたね」「2期目に向けてがんばってください」など激励の声が寄せられています。

荒木さんは、昨年10月から候補者活動を始めて7カ月、毎週平日5日間は、狛江駅と和泉多摩川駅で早朝の宣伝活動を行ってきました。そして、市や東京都、小田急バス、スーパーヤヒロなどと交渉し、防災ラジオの利用を拡大したり、スーパーヤ

ヒロの出口にカーブミラーを設置したり、供養塚公園に街路灯を設置し防犯カメラの設置を約束させるなど、奮闘してきました。

そして今、市議会議員として、狛江市や調布署と交渉するなど、カーブミラーの設置や路面標示の改善、視覚障がい者用の信号機の設置等、とりくんでいます。

私も健康に留意しながら、荒木てつさんをサポートして、ひきつづきがんばりますので、よろしくお願ひします。

重国たけし（豊かな会世話人）の市民要求実現運動・市政レポート

4月の市議会議員選挙でのご支援本当にありがとうございました。今後は1市民として、掲げた公約の実現に可能なやり方で取り組んでいきます。

この間、私が取り組んでいるPFAS（有機フッ素化合物）による地下水・水道水汚染問題と東野川地域等のバス路線廃止・減便の回復を求める問題についてレポートします（いずれもお問い合わせは重国たけし 090-1775-9052 まで）。

PFAS（有機フッ素化合物）地下水汚染 説明へ市民運動を

多摩地域の地下水やこれを使用した水道水に発がん性の恐れなどが指摘されている有機フッ素化合物（PFAS＝ピーファス）が国の暫定基準値を超える高濃度でふくまれていることが大きな問題になっています。PFASは、血中のコレステロール値が上がる脂質異常症や、甲状腺機能低下症、腎臓がん、子どもの成長の遅れ、生殖機能への影響も指摘されています。

現在、基準値を超えるPFASが検出された井戸からの取水は停止しているとのことですが、「多摩地域のPFAS汚染を明らかにする会」と京都大の原田浩二准教授が行った多摩地域の住民の血液調査

（650人）では、アメリカの公的機関が健康リスクの指標とする基準値を超えるなど、血中濃度が高い（国分寺・国立・立川・府中・西東京・調布・小平市の303人の結果では全国平均の3.4倍）ことが明らかになり、心配の声が広がっています。

狛江市内でも、21年度の調査で、井戸水から基準値の8倍を超える地下水汚染が明らかになっています。「多摩地域のPFAS汚染を明らかにする会」

では、先の調査では対象者がいなかった（少なかった）自治体の住民に対して血液調査を追加実施するとしており、狛江でも「PFAS汚染を明らかにする狛江の会」を立ち上げ、学習会（6月12日）や血液検査（6月27日）への協力を行いたいと考えています（5月26日時点）。

地域ぐるみの運動でバス路線の廃止・減便の回復策を

市内各地でバス便の減便などで交通不便地域が生じており、「暮らしの足」を守る課題が切実になっています。



とくに、狛江市の北部、東野川地域では、一昨年の小田急バス（ハイタウン—喜多見駅）の減便（午前中10時～12時にバス便がなくなった）に続き、今年2月末で突然、京王バスが路線廃止（ハイタウン—つつじヶ丘駅）され、大変不便な状況になっています。

私は、2月末、岡村市議とともに京王バス本社に路線廃止を見直すよう要請に行く（この時は要望書を手渡したのみ）とともに、この京王バスのほぼ全便（32便）に乗り、通院、通学、買い物などに利用されているその実態と乗客の声を聞く調査活動を行いました。



京王バス廃止前に緊急調査を行う重国（2月28日、狛江ハイタウンバス停）

そして、その結果も踏まえ、日本共産党の田村智子参議院議員事務所の協力も得て、再度の京王バス要請・懇談が実現し（宮坂市議参加）、小田急バスにも要請・懇談（岡村議員、荒木候補〈当時〉参加）を行いました。



バス便の回復のめどが立つまでにはいたっていませんが、要請のなかでは、住民からの声を伝え、またバス会社としても狛江市が住民懇談会などを開催するのであれば出席を検討することなどの回答もありました。

「つつじヶ丘駅行きバス路線の復活」「喜多見駅行きバスの増便」などの住民要望がストレートに実現すればこれに越したことはありませんが、まずは、

狛江市が、今回路線廃止などがなされ交通不便地域となった住民とバス会社の意見交換の場を設け、そのなかで、具体的、現実的改善の方向を探っていくという取り組みが実現できれば、さまざまな解決策が見えてくるのではないかと考えています。現在でも、従来あったバス便の路線復活・増便とともに、別のハイタウン経由便を設ける、こまバスを経由させる、グリーンスローモビリティなどの提案もなされています。

京王バス・小田急バスともに発着の「ハイタウン折返場」が、狛江市と調布市と世田谷区の接するところにあることから、調布市の自治会などからもバス便の回復に向けて、住民アンケートが実施され、署名活動の提案もあります。狛江でも、ハイタウン管理組合では、バス路線の廃止時等にバス会社と市に要請を行うなどの動きもあります。私も、これらの取り組みの到達点を踏まえ、住民の皆さんの意見を聞きながら、地域ぐるみの署名運動に発展させることができないかと取り組みを検討中です。

松原市長は高齢者を活用というが

5月24日の東京新聞7面に、全国の信用金庫でつくる「よい仕事おこしネットワーク」が5月15日に行った「全国首長サミット」の記事が載っていた。連携協定を結ぶ全国の20自治体の首長が参加、自治体の特徴や取り組みをアピールした中に、狛江市長の名前もデカデカと出ていた。記事によれば、松原市長のアピールは、なんと「元気な高齢者 経験生かす」。曰く「70代、80代はまだまだ元気。そして、知識や経験もある豊かな方々だ（その通り！）。地域に存在する人（？）や自然、環境、ユニークな資源に行政が目し、磨き、高め、しっかり使っていく（?!）。新たな創造と同時に、古いものの価値を磨き上げ（?）、街づくりをしていかないといけない」と。

エッ！高齢者は存在する資源？、磨き上げ使っていく対象なの。それなのに人生100年時代を理由に、公民館に地域活動支援センターを押し込み、知の拠点である図書館は分割移転して、市民センターでは新聞雑誌は読めるけど本（資料）を借りるには400m先の新図書館まで行かなくてはならない。公民館は若者向けの部屋はたくさん作るけれど、今まで活動してきた人たちが使える部屋は明らかに減る。それを補うために時間区分を増やすという。改修のために公民館は1年、図書館はなんと2年間も休館するという計画が着々と進められようとしている。

これでどこが高齢者の豊かな経験を生かすなどと言えるのだろうか。コロナ禍で公民館の活動団体が減ってきている。高齢で活動をあきらめざるをえない団体も多い。

5月28日の東京新聞は1面で「長寿のかぎ 交流にあり」と報じている。川崎市麻生区が男女共平均寿命が日本一。予防医学専門家の話として「健康や行動は周辺環境の影響を受けていることがわかってきた」という。「社会的な孤立や孤独も健康に悪影響を及ぼす。社会的健康という側面で見ると、店や公園、グループ活動の多さなどが、人と会って話す機会や交流を促していることも考えられる」そうだ。

高齢者が生き生き暮らせる街にしていくことを松原市長は本気で考えているのだろうか。とてもそうは思えない。
(中和泉 周東三和子)

やっぱりおがしい図書館分割・移転

新図書館は狭くて使いづらい・2年間も休館 基本設計の市民説明会（6/1、6/3）

市民センター改修・新図書館整備の基本設計の説明会が行われます。市民参加と市民協働条例に則らずに図書館の分割・移転を決めた「市民センター改修等基本方針」、それに基づいて策定された「基本構想」、パブリックコメントにも多数の反対意見が寄せられました。しかし市は「基本方針」に反する意見は取り入れず、「基本設計」を進めています。

私たちが最も疑問に思っているのは、「市民提案書」に沿って業者に作成させた増改築案（市民アンケートに提示）に全くなかった図書館の分割・移転計画が突如「基本方針」として策定され、しかも策定の経過が一切明らかにされないことです。

業者の案の中には分割・移転にかかる費用と同等の予算規模で現在地で充実させる案も提示されて

いたにもかかわらず、何故あえて狭くて中央図書館とは言えないような、しかも2年間も図書館を休館するような不可解な計画を策定したのか、市はまずこの疑問に答えるべきではないでしょうか。

説明会では、建物の機能や配置など具体化した基本設計の進捗状況が示されます。具体的にになればなるほど、市民の要望が叶えられる施設になるのか疑問がたくさん出てきます。

市民センターは今後20年、新図書館は40～60年使い続けることになる施設です。使い勝手、運営の仕方、人員配置まで含めて設計されなければなりません。設計図は市のホームページ：[狛江市](#) > [各種計画](#) > [市民センター改修基本設計](#)

投稿「市民センター改修・新図書館」議会でどんな議論がされてきたか

2019年から2022年までの狛江市議会の議事録を調べました。市民センター改修と新図書館について、どのような審議がなされていたかをみてみました。抜粋*はA4で285頁になりました。それを800字ではまとめきれないので、今回の市の中央図書館の移転・分割が「市民参加と市民協働の推進に関する基本条例」違反ではないかについての議論を紹介します。

この点に関しては無所属の平井議員、狛江・生活者ネットワークの松崎議員、日本共産党の議員、特に鈴木議員がしつこく追及しましたが、市は「手続きを踏んでいる」というのみで、「基本条例」違反を認めません。

「基本条例」の第5条で、「市民の公共の用に供される大規模な施設の設置に係る基本計画等の策定及びその利用や運営に関する方針又はそれらの変更」については、「あらかじめ市民参加の手続きを行わなければならない」となっており、また、「又はそれらの変更」についての説明で、「既存の施設の移転についても、あらかじめ市民参加の手続きを行わなければならない」とされており、明らかに条例違反です。

基本条例に罰則規定がないのをいいことに、狛江市は説明責任を果たさないまま、2020年8月に、それまで全く出てきていなかった中央図書館の移転分割をいきなり持ち出してきました。

松崎議員は2021/9/7の年第3回定例会で、「基本条例」違反ではないかどうかを確認するために、「第三者に評価をお願いすべき」という提案をしましたが、市は、「個別の事業に関しての評価については行っておりません」との一言で、松崎議員の提案を却下しています。驚くべきことです。

市や「中央図書館の移転・分割」賛成の議員の意見は、「狛江市は小さな街なのだから分相応の図書館でいいではないか、周りの市にはたくさんの図書館もあるから」とのことです。この考えを元に作られたのが「狛江市新図書館整備基本構想」です。箱モノを作って中身は後で考えるという逆転した発想で作られた計画には反対です。

*「市議会議事録抜粋」は「豊かな狛江をつくる市民の会」ホームページからダウンロードできます。

（和泉本町在住 須貝光典）

6月の市民運動などの予定

※今月、市民運動団体などが予定している各種会議やイベントなど、日程を掲載するコーナーです。編集部が把握する情報には漏れがあると思いますので、ぜひあなたの情報をお寄せください。
 ※本紙に折り込んでほしいピラなどがありましたら、320部用意してください。会報製本・仕分け作業日前日が締め切りとなります。折り込み希望の方は、可能な限り、会報の製本・仕分け作業をお手伝いください。

※コロナ感染状況によっては中止になる場合もあります。

日 時	会場など	内 容	問い合わせ先など
3日(土) 16時30分～ 17時30分	狛江駅前広場	Silent Standing	《平和憲法を広める狛江連絡会》《こまえ九条の会》
9日(金) 10時30分～	みんなの広場	「豊かな狛江」編集会議	
9日(金) 17時30分～ 18時30分	狛江駅前	9の日行動 = 駅前署名・宣伝行動	戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会
10日(土) 13時30分～ 16時	中央公民館 ホール	第36回狛江母親大会 記念講演：白神優里子弁護士	第36回狛江母親大会実行委員会
12日(月) 10時～12時	中央公民館 講座室	PFAS学習会 講師：「多摩地域のPFAS 汚染を明らかにする会」共同 代表 根木山幸夫さん	PFAS汚染を明らかにする 狛江の会
15日(木) 14時～16時	中央公民館 第2会議室	《平和憲法を広める狛江連絡 会》《こまえ九条の会》合同世 話人会	新しい方の参加大歓迎です。
17日(土) 14時～16時	西河原公民館 学習室1	教科書カフェ「どう変わる小 学校教科書」	新婦人狛江支部・子どもと教 科書狛江の会・都教組狛江地 区協
22日(木) 14時～16時	東京土建狛江 支部会館	こまえ社保協事務局・役員会	各加盟団体の皆さんは、ご出 席ください。
26日(月) 14時～16時頃	みんなの広場	豊かな会拡大世話人会	世話人以外の方の参加歓迎で す。
27日(火) 9時30分 ～11時頃	みんなの広場	豊かな会会報『豊かな狛江』 7月号の製本・仕分け作業	
28日(水) 17時30分～ 18時30分	狛江駅前	《消費税をなくす狛江の会》 の署名行動	民主商工会や東京土建狛江支 部などが中心。第4水曜日。

5月3日憲法記念日/日本国憲法施行から76周年 憲法大集会と九の日行動

平和憲法を広める狛江連絡会・こまえ九条の会、戦争なんてイヤだ！ 狛江市民実行委員会
前土肥保



「東京憲法会議・田中章史氏提供」

5・3憲法大集会

全国的に好天に恵まれた5月3日(水)、各地で憲法記念日の集会が取り組まれ、東京では有明防災公園(江東区)で「あらたな戦前にさせない! 守ろう平和といのちとくらし2023憲法大集会」が開かれ、25,000人が集いました。狛江からは20人が揃って参加、それ以外に直接参加した人も。

集会の終わりに「世論調査でも43兆円の大軍拡に50%が反対し、軍拡増税には68%が反対している。『改憲発議 NO!』『大軍拡・大増税 NO!』の署名で街頭に立とう」と行動的提起があり、参加者が「改憲・大軍NO」、「敵基地攻撃能力 いらぬ」、「守ろう! 平和・いのち・くらし」のプラカードをいっせいに掲げてアピールしました。



九の日行動

5月9日(火) 狛江駅北口で午後5時半から6時半まで、22人が参加して、通行人に「大軍拡・大増税 NO!連絡会」と東京革新懇のリーフ・ビラを配布しながら「改憲発議 NO!」「大軍拡・大増税 NO!」署名を呼びかけました。

新日本婦人の会・周東支部長が司会を務め、市原広子元市議、荒木てつ市議、東京土建・塩野副委員長、狛江母親連絡会・大久保さん、前土肥がリリーススピーチし、合わせて32筆の署名をいただきました。



第36回 狛江母親大会

憲法9条守ろう 戦争への道は許さない！
今できることは

とき：6月10日(土)

13時半～16時

ところ：中央公民館・ホール

記念講演：白神優理子しらがゆりこ弁護士

日本国憲法や今の情勢について、
八王子総合法律事務所の白神優理子
弁護士にお話しいただきます。



折込みの演劇案内

「地獄のDecemberー悲しみの南京ー」

「ひとみー真実はひとみの中にあるー」

チケット、預かっています。

西尾真人 080-1153-7336

manishio@jcom.zaq.ne.jp

田中智子

tomoko.t.9625@ozzio.jp

狛江の自然



アジサイ

野川遊歩道を御台橋から西野川に少し入ったところ、5月23日(火)夕方、雨上がりに撮影。ここら辺はヤマザクラやセンダン、菊花等々、多種類の木々と草花(私はその多くの名前を知らない)がある。遊歩道は毎年、剪定がされ、気持ちの良い散歩コースになっている。緑の小道のなかで咲き始めたアジサイの葉に残る水滴がまた良い。

西尾 真人(和泉本町在住)